

令和4年6月 東金市教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和4年6月21日（火）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時55分

2 場 所 東金市役所 第1委員会室

3 招集者 東金市教育委員会教育長 石川 貢彦

4 教育長及び出席委員

教育長 石川 貢彦

委員（教育長職務代理者） 石田 絢子

委員 山下 美紀

委員 豊田 和雄

委員 吹野 恭一

5 出席職員

教育部長 長尾 泰正 教育総務課長 矢崎 正

学校教育課長 新田 篤 生涯学習課長 岩瀬 保雄

スポーツ振興課長 佐久間 英郎 東金図書館長 赤松 康寛

教育総務課副課長 小倉 功照 同課副主幹 川崎 一郎

同課主査補 大杉 尚徳 同課主事補 鈴木 ひとみ

6 傍聴人 なし

7 議 題

議決事項

第1号議案 東金市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について

第2号議案 行事の後援の承認について

第3号議案 行事の後援の承認について

報告事項

1 代理した事項の報告について

東金市教育支援委員会委員の委嘱

- 2 代理した事項の報告について
山武地方児童生徒結核対策委員会委員の委嘱
- 3 専決した事項の報告について
行事の共催の承認
- 4 専決した事項の報告について
行事の後援の承認
- 5 諸報告

その他

8 議事の概要

第1 開 会

午後1時30分、石川教育長より開会が宣告された。

第2 会議録署名委員の指名

石川教育長より吹野委員を指名した。

第3 令和4年5月教育委員会会議（定例会）会議録の承認

石川教育長より令和4年5月18日開催の東金市教育委員会定例会の会議録について承認を求めた。

全員異議なし

第4 議 件

第1号議案 東金市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について

石川教育長より第1号議案について出席職員に説明を求めた。

学校教育課長より東金市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について説明した。

<説明概要>

本件は、東金市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について審議をお願いするもの。

全員一致で原案どおり可決

第2号議案 行事の後援の承認について

石川教育長より第2号議案について出席職員に説明を求めた。

教育総務課長より行事の後援の承認について説明した。

<説明概要>

本件は、令和4年6月10日付けで団体名「一般社団法人YASSAWAVE」から申請のあった行事の後援の承認について審議をお願いするもの。

全員一致で原案どおり可決

第3号議案 行事の後援の承認について

石川教育長より第3号議案について出席職員に説明を求めた。

教育総務課長より行事の後援の承認について説明した。

<説明概要>

本件は、令和4年6月13日付けで団体名「城西ジュニアバレーボールクラブスポーツ少年団」から申請のあった行事の後援の承認について審議をお願いするもの。

石田委員 教育長杯というのは初めてのイベントでしょうか。名称が「東金市教育長杯」ということですので、優勝チームには教育長から優勝トロフィー等を授与するセレモニーはあるということでしょうか。

教育総務課長 おっしゃるとおり、教育長杯というのは初めてでございます。スポーツ振興課と話をしまして、今後、優勝トロフィー等、予算要求の必要があるのであれば対応いたします。今回の行事については、予算計上等は特にしていないとのことです。

石田委員 青少年の事業というのが比較的少ないと感じておりまして、こういった形で各スポーツが青少年育成と結びついていくということは、大変良いことだと思います。

山下委員 いくつか違和感を覚えるところがあります。まず「教育長杯」という名称についてです。教育におけるスポーツには競争というより親睦というようなイメージがあります。「教育長杯」という名称にすることで、教育長が競争することを扇動するようなイメージを持ち得ることに少し違和感があります。

次に「スポーツ少年団」という団体名について、「ジュニアバレーボールクラ

ブ」などでしたら違和感がないのですが、この時代「少年団」という名称の扱い、少年や少女というカテゴリー化された呼称を用いることが気になります。

最後に、こちらの団体は今までもこのような試合などは開催されてきていると思いますが、後援がなくても民間の協賛を多く得ており、参加者も集まっていたので、今までどおり行うとしても十分地域貢献等を図れ、成立するのではないかなと思います。これまでに行事の後援を希望された少年野球等は、人数が少なかったので後援する必要性をかなり感じていたものの、他の団体スポーツとの兼ね合いからその際は承認されなかった背景があり、そのことを鑑みると、公平性の観点から今回の行事に関しては後援の必要性としてそれほど深刻ではないなかでの承認をどのようにすべきか熟慮したいと思います。

教育総務課長 1点目に関してですが、スポーツ少年団の団長を石川教育長がお務めになっているということでしたので、このような名称にしたとのことです。

2点目に関しては、団体名でございますので、申請者へ働きかけることはございません。

3点目に関してですが、東金市教育委員会行事の後援に関する規則により、事務局からは後援承認申請書が提出された場合は、受理を否定するものではないという考えになりました。

山下委員 後援するということであれば、関係者だけが分かっているということではなく、いろいろな人たちがこの言葉等を見た時に、大体のイメージが伝わるようなものであるほうがわかりやすいと思います。

石田委員 対象者を広くするという意味におきましては、青少年の健全育成の一環という趣旨ですので、青少年関係の団体から後援をいただけたらいかがでしょうか。そしてこのスポーツ少年団の関係者のみで競うのではなく、青少年の育成団体の方にも働きかけて広く参加者を募るのはいかがでしょうか。

スポーツ振興課長 今回初めてこの団体から大会を開くというような話を受けました。青少年の健全育成というような趣旨もございまして、スポーツ少年団自体、教育長が代表を務める団体でございますので、私どもとしてはスポーツ振興というような意味合いも含めてこの事業を支えていきたいと考えております。また、このスポーツ少年団自体が全国組織の団体でございます。メリットとしては、こういった全国組織があるが故に、ネットワークが非常に取れておりますので、今回の大会はおそらく

で申し訳ないのですが、このスポーツ少年団に加盟をしている団体に声を掛けながら、開催される大会ではないかなと推測しております。今回第1回目ということでもありますので、対象者がまだ十分ではないかもしれませんが、回を重ねるごとに輪が広がっていけばこちらとしても嬉しい、と考えております。

石田委員 趣旨の最初に青少年の健全育成の一環と起きているということは、この事業をまず取り仕切るのは生涯学習課青少年係ではないかな、と思います。そしてスポーツ振興課と協力し合っこの事業を進めていく、というのが好ましい在り方ではないか、と思います。

生涯学習課長 生涯学習課が事務局になっている青少年相談員連絡協議会の会長に連携が取れるようお話をさせていただければと思います。

山下委員 青少年の健全育成という趣旨で、行っていることはいいのですけれども、教育長杯というような人や役職名ではなく、東金市杯というような名称のほうが妥当だと私は思います。したがって、内容はよくても名称がふさわしくないと判断した場合には賛同せず、名称と内容ともにふさわしいものである場合にのみ賛成するのか、そのあたりが不透明だと思います。

教育総務課長 こちらも呼称の議論を少しさせていただいて、この団体に確認をしましたところ、旭市や匝瑳市に市長杯というような名称で市長部局の方に後援申請をあげるという話もされておりました。一方、今回はスポーツ少年団の代表である教育長の名前を教育長杯というような議論はいたしました。自分たちもやはり、教育長なり、市長杯というかかんむりをつけることに実は違和感がありました。

山下委員 市長杯・教育長杯という立場ある役職名ではないほうが、教育のあり方を示唆するうえでも、この時代背景や様々なスポーツ団体の方向性を示すことなどさまざまな状況からも、周りから得る印象としては申請者にとっても望ましいと思います。

石田委員 事業名に関しては、申請者がこの名称でイベントをしたいので、後援をしてほしいと申請してきたものですね。申請者の意図はこの事業の趣旨に書かれているとおり、青少年健全育成の一環としてこの事業を実施したいということだと思います。ですからこの事業の切り口は青少年健全育成であり、スポーツの

振興ではないということになります。

そうしますと、直接、窓口となって担当するセクションは生涯学習課青少年係であり、その目的を達成するための手段がバレーボールということになりますので、スポーツ振興課との協力体制が必要となる、という構図だと思います。

事務手続き上、いろいろあるものの、基本的にこの事業が子どもたちにとって有意義であり、結果、青少年健全育成に結びついていくということであれば、異議はないです。

教育総務課長 委員のご指摘のとおり、実は事務局側も申請者の方に対して同じようなこととお話しております。市長杯、教育長杯という違和感については伝えました。そうしたところ、このような回答、これで行きたいということでございましたので、申請を受けないわけにはいきませんので、ご審議いただければと思います。

石田委員 それでは今後のこともありますので、十分この団体の指導をお願いしたいと思います。

吹野委員 先ほど教育長杯については、市の予算は充当しなくていい、というようなことだったと思うのですが、それは協賛企業からの協賛金で用意するということですか。

スポーツ振興課長 教育長杯につきましては、今回申請が来ることは、予期しておりませんでしたので、先ほど教育総務課長から回答があったとおり予算にも今のところ計上しておりません。教育総務課長の方からも、先ほど予算という意味で今のところ計上なし、というような意味での回答をさせていただきましたが、私どもといたしましては、こういう大会をやる以上は何かしらの配慮は必要だと考えておりますので、主催者の方とも連絡を取る中で、可能な範囲で、杯をスポーツ振興課の方で用意ができないかということで今検討しているところでございます。

石田委員 収支予算書を拝見しますと、熱中症対策として冷房代が計上されていますが、会場借り上げ料は計上されていません。ですから教育委員会はここを減免することで便宜供与をするということではないかと思います。

吹野委員 いずれ市の予算として計上したいということですね。わかりました。

豊田委員 私の方からは1点だけ確認です。名称が書いてあって、そこに二重線が引っぱってありますよね。おそらく、申請者側は最初二重線を引かずに、教育委員長杯ということあげてきましたよね。この二重線を引いたのは教育委員会の方ですか。

教育総務課長 申請者は教育委員長という役職がまだあるつもりで申請書を持ってこられてまして、事務局から制度改正の関係で教育委員長というのはなくなった旨の話をして、申請者ご本人が二重線を引いて訂正しております。押印の見直しにより、訂正印はありません。

豊田委員 本人が引いたということで、その後にもう1度提出しなおすということはないのですね。名称そのものってすごく大事なものだと思うので、二重線を引いてあるものが、教育委員会議の資料として出されているという違和感をすごく感じました。その後にもう1度正式なもの出したのかどうかということと、次年度も同じような行事をやるのであれば、その際はきちんとやってもらいたいと思います。

教育総務課長 総務課に確認をしたのですが、これは正式な文書として成り立つという回答は得ております。しかしながら、議案としてこのような形で提出するのは、今後の反省材料とさせていただければと思います。

石田委員 押印はいりません、なおかつ二重線の訂正はオーケーです、総務課の確認を得ていますということなのですが、それでいいのでしょうか、という疑問があります。申請者と面談しているから間違いはないと考えますが、書類として、団体と代表者の押印はない、なおかつ間違えてしまったから二重線で訂正して済んでしまうっていうのは、果たして、書類っていうのかな、という疑問があります。やっぱり後援を受けるための申請書ですので、もうちょっと厳正に作成していただきたい、というのが要望です。

山下委員 受け取る側も申請する側もきちんとするべきところはしなければいけないと思います。いままでも「確認したから良い」ということで通してきている前提があるから、今回もこのような体裁で審議の場に至ったのだと思いますが、こういったことが随所に表れているということは別の意味で救いというか、悪いことではないと思いますし、いろいろなことを示唆していると思います。やはり一事が万事で、ひとつのことを崩すと、あらゆるものが崩れてしまうものなので、これから先、申請書の作成などがルールや適切な意識に則って履行され

るように、ある程度の水準が順守された申請書の作成の仕方のアドバイスなども必要だと思います。東金市として承認した場合、東金市代表のスポーツチームという位置付けで動いていく可能性があります。今後、申請や意識についても整えながら、どの立場でもどんな場面でも順当な考えのもとで動いているかというところを確認しながら進めていくことが大切だと思います。

石田委員 今回のこの後援申請に関して、いろいろな問題点が出てきたと思います。大きく2つ。1つは公文書の在り方についてです。申請者にヒアリングをした人がいなくなってしまった場合、この二重線は誰がやったかわからなくなってしまいます。そして、これは公文書として残っていくわけですから、やはり、公文書の在り方や厳正さをきちんと管理をしていただきたいです。それからもう1つは、内部調整をきちんとしていただきたいと思います。窓口は教育総務課かもしれませんが、関わってくるのがスポーツ振興課、それから生涯学習課。いろいろなイベントをやる中で、関係の方たちの全体の調整というのをしっかりとっていくということを十分心がけていただきたいと思います。

吹野委員 様式の確認なのですが、押印はなしで可能になったのでしょうか。

教育総務課長 はい、可能になっております。

賛成多数で原案どおり可決

第5 報 告

1 代理した事項の報告について

東金市教育支援委員会委員の委嘱

学校教育課長 22頁を御覧ください。令和4年4月20日開催の教育委員会定例会において承認された東金市教育支援委員会委員に変更が生じたため、ご報告申し上げます。医師会の役員が改選され、柿栖米次先生が退任されたことにより、新たに古垣齊拡先生に委嘱させていただきました。任期は令和6年3月31日まででございます。

2 代理した事項の報告について

山武地方児童生徒結核対策委員会委員の委嘱

学校教育課長 24頁を御覧ください。山武地方児童生徒結核対策委員会は、児童生徒の結核検診の適正かつ円滑な実施のために設置されるものです。委員の任期は1年で、本年度の事務局は九十九里町となっております。本市からは養護教諭部会代表として日吉台小学校養護教諭、教育委員会担当として私がそれぞれ委嘱されました。

3 専決した事項の報告について 行事の共催の承認

学校教育課長 資料の28頁を御覧ください。こちらは教育長の専決により共催を承認された行事となります。

学校教育課から千葉県小中学校体育連盟から申請のあった2件について御報告申し上げます。

1件目は、令和4年度第76回千葉県中学校総合体育大会です。7月26日から29日までの間、東金アリーナにおいてサッカー、新体操、柔道が行われます。

2件目は、令和4年度千葉県中学校新人体育大会です。東金アリーナにおいて、11月5日に新体操、11月20日にサッカーが行われます。

これらの行事の趣旨は、中学校教育の一環として、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上と心身の健全な育成を図るとともに、生徒相互の親睦を図ることです。

生涯学習課長 資料の29ページの(3)及び(4)につきましてご説明申し上げます。

こちらの2件につきましては、いずれも生涯学習事務局となっている東金市子ども会育成協議会及び東金市ジュニアリーダースクラブの事業に関するものでございます。両事業とも、以前は毎年実施していたところですが、新型コロナウイルスの影響により中止となっており、今回3年ぶりの開催となるものでございます。

まず(3)の行事についてです。行事名は第34回房総子どもかるた東金大会、申請者は東金市子ども会育成協議会です。会場は東金アリーナで、日時は令和4年7月9日土曜日午前9時30分からです。行事の趣旨は、市内子ども会会員が集い、房総子どもかるた競技により、友情を深め、仲間づくりを行う。また、千葉県の歴史・文化・産業を理解し、郷土愛を高め、子ども会活動の活性化を図る。というものです。専決した日は令和4年5月31日

でございます。

続きまして、(4)の行事についてです。行事名は東金市ジュニアリーダーズクラブサマーキャンプ、申請者は東金市ジュニアリーダーズクラブです。会場は千葉県立東金青少年自然の家で、日時は令和4年7月31日曜日でございます。行事の趣旨は、市内各地の子ども達が集まり、学校を越えた仲間を作るとともに、自炊・テント設営などのキャンプの中で野外における基本活動を習得する。というものでございます。専決した日は令和4年6月8日でございます。

4 専決した事項の報告について

行事の後援の承認

教育総務課長

資料の30頁を御覧ください。こちらは、教育長の専決により後援を承認された行事となります。記載の(1)から(12)までについて、順に御説明させていただきます。

なお、今回は案件が多いため一部省略した説明とさせていただきます。

まず(1)の行事についてです。行事名は、九十九里大漁木遣り唄全国大会です。申請者は九十九里大漁木遣り唄全国大会実行委員会で、行事の趣旨でございますが、「千葉県が誇る九十九里浜を唄った民謡、九十九里大漁木遣り唄を全国に広めると共に、伝承と保存及び普及を図る。」というものでございます。後援内容はプログラムにおける後援名義の使用で、専決した日は令和4年5月16日です。

続きまして、(2)の行事についてです。行事名は、国際交流&イングリッシュキャンプです。申請者は宮城復興支援センターで、行事の趣旨でございますが、「東日本大震災・全国各地の災害による避難生活児童の心のケアを支援し、災害の風化防止・防災意識の向上に努め、併せて、子どもたちの国際交流や多文化共生等を促進する」というものでございます。後援内容は後援名義の使用で、専決した日は令和4年5月18日です。

続きまして、(3)から(6)までの行事でございますが、申請者が同一でございますので、一緒に説明させていただきます。行事名は、ライブビューイングコンサート千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大発見コンサート 2022 南総公演、知って！感

じて！ホールのピアノ～ピアノの魅力を発見しよう～、TOSO Dance Festival RISE 2 及びチェロ×トランペット 西方正輝ソロコンサートです。申請者は公益財団法人千葉県文化振興財団で、行事の趣旨を総括して申し上げますと、舞台芸術活動の勸奨機会の提供と、県民の日頃の練習成果の発表の場の確保により、県民の文化芸術活動の推進への一助としようというものでございます。後援内容は、チラシ、ポスター等における後援名義の使用で、専決した日はいずれも令和4年5月26日です。

続きまして、申請者が同一で承認日が異なる案件がもうひとつございますので先に説明させていただきます。資料の34頁をご覧ください。(10)の行事についてです。行事名は、ルーエプロジェクト夏休み子どもアーティスト体験です。行事の趣旨でございますが、さきほどと同様に「文化芸術活動の推進」というものでございます。後援内容は後援名義の使用で、専決した日は令和4年6月8日です。

続きまして、(7)の行事についてです。行事名は、第29回夏休み食虫植物親子教室です。申請者は成東・東金食虫植物群落を守る会で、行事の趣旨でございますが、「地域の貴重な天然記念物に親しみ、地域理解を深め、文化愛護の精神を養う。」というものでございます。後援内容はチラシにおける後援名義の使用で、専決した日は令和4年5月26日です。

続きまして、(8)の行事についてです。行事名は、夏期心理リハビリテーション研修会です。申請者は、千葉県心理リハビリテーション連絡会で、行事の趣旨でございますが、「特別支援学校及び学級をはじめとする教育現場だけではなく、さまざまな臨床場面で取り入れられている心理リハビリテーション（動作法）を、広く教職員等に習得する機会を提供する。」というものでございます。後援内容は、研修案内状及び研修参加証明書における後援名義の使用で、専決した日は、令和4年6月3日です。

続きまして、(9)の行事についてです。行事名は、令和4年度山武地区高校進学相談会です。申請者は、千葉県高等学校長協会山武地区校長会で、行事の趣旨でございますが、「山武地区及び周辺の中学生及び保護者に、各高校の特色や入試情報等を提供し、中学生の進路選択に資する。」というものでございます。後援内容は、広報資料における後援名義の使用及び中学校における参加呼びかけで、専決した日は、令和4年6月1日です。

続きまして、(11)の行事についてです。行事名は、USF Sports Camp in 千葉 2022です。申請者は一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATIONで、行事の趣旨でございますが、「トップアスリートの直接指導で様々なスポーツを体験し、競技の多様性に触れるとともに、自分自身の能力や関心を見つけ出す機会を提供する。また、初対面同士の子どもや世代・国籍の違うスタッフとの交流を図ることで、ソーシャルスキルを高めグローバルな視点を養う。」というものでございます。後援内容は後援名義の使用及び東金市内小学校へのチラシ配布協力で、専決した日は令和4年6月8日です。

最後に、(12)の行事についてです。行事名は、令和4年度子どもゆめ基金助成事業「親子で遊べる科学教室」24活動です。申請者はリカちゃんとラボで、行事の趣旨でございますが、「当該地域に根付いた子どもゆめ基金活動を継承し、未来を担う子どもたちに、科学体験活動を通して興味関心の種を蒔き、向後の学習、研究過程において、その体験の記憶が淵源となるような運動として信念をもって展開する。」というものでございます。後援内容は後援名義の使用で、専決した日は令和4年6月8日です。

吹野委員 ライブビューイングコンサート千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大発見コンサート 2022 南総公演についてですが、行事名は南総公演でよいのでしょうか。会場が千葉県東総文化会館だったので気になりました。

教育総務課長 行事名にもあるとおり、ライブビューイングということで同日館山市で開催されるコンサートの中継を千葉県東総文化会館で視聴するとのことです。

石田委員 知って！感じて！ホールのピアノ～ピアノの魅力を発見しよう～についてです。東総地域の教育委員会が後援していますが、大網白里市教育委員会は後援しないのでしょうか。エリアの線引きがどのようになっているのか教えてください。

教育総務課長 東総の考え方ですが、東金市までで線引きしたいという話を相手方から受けています。

(1) 石川教育長

千葉県総合教育センター懇談会に出席したこと等について報告した。

(2) 教育部長

6月に開催された市議会定例会に関し、教育委員会が関係する補正予算案や義務的報告事項の概要等について、説明した。

(3) 教育総務課長

特段の報告事項なし

(4) 学校教育課長

6月及び7月の行事予定について、学校教育課行事計画に沿って報告した。
また、長欠不登校の状況について、資料に沿って説明した。

(5) 生涯学習課長

6月及び7月の行事予定について、生涯学習課行事計画に沿って報告した。

(6) スポーツ振興課長

6月及び7月の行事予定について、スポーツ振興課行事計画に沿って報告した。
また、東金市スポーツ推進計画の改定について説明した。

(7) 東金図書館長

6月及び7月の行事予定について、図書館行事計画に沿って報告した。

第6 その他

事務局より、次回の教育委員会定例会の開催日時等の予定について連絡した。

第7 閉会

午後2時55分、石川教育長より閉会が宣告された。